

## シュバルトシルド光学系

この光学系もやはり純粋な反射光学系(球面鏡)で、顕微鏡対物レンズとして使われています。純反射系であるため真空紫外から赤外まで色収差無く結像でき、いわゆる有限共役系なので単独で結像できません(最近の顕微鏡対物レンズは無限共役系=結像レンズがないと像を結ばない=が多い)。

